

9/9~9/11 1年・清里移動教室

避暑地でもある清里高原。当日は、普段の1年生の皆さんの様子を表しているかのごとく、かんかん照りで暑い3日間でした。初めて「生徒主体で運営していく行事」にしようという決意のもと、懸命に各自の役割を果たしていました。学年スローガンでもある清里宣言の第五条、「全力で楽しむ」ことを掲げた1年生の皆さんにとって、この移動教室は一生の思い出になったことでしょう。これからの更なる成長に期待します。



9/13 生徒会本部役員選挙

今年度も、荒川区選挙管理委員会の御協力のもと、生徒会本部役員選挙を行いました。立会演説会では、どの立候補者も自分なりの公約を掲げ、「原中をもっと良い学校にしたい」という熱意のこもった演説をしていました。立会人として、立会演説会や3年生の投票を見守ってくださった「明るい選挙推進委員」の方々からは、「演説も、話を聞く様子も素晴らしかったです」という感想をいただきました。



9/14 第2回 学校説明会

9月14日(土)、本校の学校公開とあわせて、第2回学校説明会が行われました。区内の小学6年生とその保護者が、体育館での説明会を受け、その後は校内見学を教員の案内で行いました。また、午後はそれぞれが希望した部活動の体験・見学を行いました。すでに入部を考えている児童もいるようで、来年度が楽しみです。最終的には、80名を超える6年生の参加がありました。皆さん、ありがとうございました。



9/20 荒川区中学校連合体育大会

9月20日(金)に江戸川陸上競技場にて第76回荒川区中学校連合体育大会が開催されました。夏休み前から練習に励み、約60名の選手の皆さんが参加をしました。3年生の久保田恵介さんの、参加校10校の選手を代表した力強い選手宣誓から大会が始まり、熱気のこもった戦いが繰り広げられていました。どの選手も最高のパフォーマンスを発揮することができ、女子2位・男子8位、総合6位という好成績を収めることができました。補欠選手のサポートが選手の力となり、係生徒の協力のお陰で、走幅跳びの競技進行もスムーズに行うことができました。生徒席からの応援や保護者の皆様の声援が会場に響き渡り、多くの方々に見守られながら頑張っている選手の姿を見ることができました。ありがとうございました。



10月後半の行事予定

日	曜	行 事	時程
21	月	全校朝礼	
22	火		A5
23	水	学年リハーサルⅠ 寺子屋	A5
24	木		A5
25	金	漢字検定	
23	土		
24	日		
28	月	表彰朝礼 吹奏楽部リハーサル	A5
29	火	演劇部リハーサル	A5
30	水	学年リハⅡ 実行委員リハ 寺子屋	A5
31	木		A5

11月前半の行事予定

日	曜	行 事	時程
1	金	文化祭前日指導・前日準備	
2	土	第31回文化祭	
3	日	文化の日	
4	月	振替休日	
5	火	各種委員会	B6
6	水	寺子屋	
7	木	中央委員会	
8	金	がん教育(Ⅰ)	
9	土		
10	日		

◎ホームページに、学校だよりを掲載しています。ぜひご覧ください。

来る11月2日(土)に、第31回文化祭を開催いたします。スローガンは、「We have a dream. ~笑顔満開な文化祭~」です。多くの皆様の御参観を心からお待ちしています。なお、詳細につきましては別途に配布いたしましたプログラムで御確認ください。よろしくお願ひ申し上げます。



10月の美術部の作品です



寄り添い 伸ばす

荒川区立原中学校

学校だより

10月号

令和6年10月18日

荒川区立原中学校

校長 村松 弘一

原中学校創立30周年記念式典及び祝賀会は、実行委員の皆様のご協力により、無事終了いたしました。ありがとうございました。一人でも多くの保護者の皆様にご参観いただきありがとうございました。会場の人数の関係で御参加いただけないこととなりお詫び申し上げます。

本校は、私が副校長だった頃にコロナ禍となり、それ以降、PTAの活動も盛んに行うことができず、現在PTA会長不在となっております。今回の記念式典や祝賀会実施にあたっては、PTAの代表を実行委員長として、多くの保護者の皆様、卒業生保護者の皆様にお手伝いいただきました。祝賀会は、実行委員の皆様が主催で、当初生徒参加も予定しておりましたので、実行委員(副)委員長の方々に、校長として、次の2点だけお願いして実施しました。

- ① 会食をするだけでなく、参加する学校関係者、PTA関係者、地域の方々が、学校・家庭・地域にもって帰っていただき、それぞれの立場で子供たちに還元できる内容
- ② 「令和のご時世、教育の場である学校で酒類の提供は、不適切にもほどがある」、校長としてコンプライアンス上許可をすることはできない。提供するなら、学校外で!

実行委員の皆様には、校長の意を汲んでいただき、生徒を参加させても十分楽しめる内容となりました。祝賀会では、「創立30周年記念講演」として、講師にレモンさん(山本シュウ氏)を招聘し、「『We are シンセキ!』～つながろう 親も子も地域も～」の主題で御講演いただきました。「頭のいい子、以前に、心のいい子」学校・保護者・地域が連携して子供たちの心を育てていくことが肝要です。レモンさんは、ラジオDJ、スポーツ・メンタル講師、大学講師、NHK Eテレ「バリバラ」メイン司会、「全国こども電話相談室リアル!」のパーソナリティとして多方面で活躍し、数多くの子供たちの悩みを聞き、決して答えを押し付けることなく、自分で考え、子供自身の乗り越える力を引き出してきました。



オセッカイター レモンさん

創立30周年記念式典 校長式辞

本校は、平成6年に、第六中学校と尾竹橋中学校、二校の歴史と伝統を引き継ぎ誕生しました。創立20周年から、今日の30周年の10年間は、新型コロナウイルス感染症という脅威の出現により、日々の生活はもとより、学校の教育活動も、日常的なマスクの着用、入学式の延期、時差通学、校外学習が実施できない、給食も全員前を向き、会話をしないで食べる 黙食を徹底するなど、大きな制限を余儀なくされました。原中学校の生徒は、直面する様々な脅威や それに伴う変化を柔軟に受け止め、今できることを最大限に一生懸命取り組みながら、日々の歩みを進めてきました。

本年度で、本校は開校30年、生徒諸君は、その節目の記念すべき年に原中学校で学んでいる特別な生徒です。御臨席の皆様、私の自慢の原中学校の生徒はどうですか? 挨拶もしっかり行い、何事にも前向きに一生懸命取り組む、落ち着いた生徒ばかりです。生徒の姿は、その学校の教育、教員の指導、保護者・地域の思いや願いを写す鏡です。本日、ここに御臨席賜った御来賓の皆様、地域の皆様、また、30年も前から、その時代時代に、未来の原中学校が素晴らしい学校になるようにと願い、思いを寄せて努力をいただいた方々の御尽力のおかげで、今の原中学校がここに存在しています。この30年間の人々の思いを受けて、私たちは今、ここに存在しているのです。私は、この30周年記念式典は、この30年間原中学校を大切にいただいた数多くの皆様の気持ちに思いを寄せ、心から感謝する場であると考えています。原中学校は、地域の学校、荒川区立の中学校です。子供は地域で生まれ、地域で育ち、地域で学び、成長し、そして大人になり、地域に貢献します。生徒諸君は、これまでつないでいただいた原中学校への思いを受け取り、未来へとつないでいくという役目を担っています。

今日の30周年記念式典は、これまでの時代をつないでいただいた皆様へ感謝し、その心・思いを受け継ぎ、これからの時代をよりよい時代に切り拓いていく誓いを新たにします。だからこそ、ここにいる君たちに、今日御臨席を賜った御来賓の皆様のご思いとともに、今後の未来を皆さんに託します。これからの原中学校とこれからの時代を、よりよい時代に切り拓いていってください。卒業後は、母校を愛する伝統を脈々と受け継いでいくことも忘れないでください。

本来であれば、午後の祝賀会に原中学校の主役・主人公である生徒諸君にも参加してもらい、御参加いただいた、地域の第六中学校の卒業生の方々に、尾竹橋中学校の卒業生の方々に、原中学校の卒業生の方々と懇談をして、原中学校をより深く知ってもらい、諸君の原中学校に対する愛校心をさらに高めてもらう絶好の機会となるころでしたが、それが叶わず、甚だ遺憾に思います。代わりに、この式典終了後には、合唱コンクールに向けて一生懸命練習に取り組んでいる、現在の原中学校の生徒の合唱と吹奏楽部の演奏を、御臨席いただいている皆様にお届けいたします。御鑑賞ください。最後に、今後の原中学校のさらなる発展と、ここにいる生徒諸君が幸せな時代を生きていることを願いつつ、本日御臨席賜った歴代校長の思いを重ね、第9代原中学校長としての式辞といたします。(一部抜粋) 令和6年10月12日 荒川区立原中学校長 村松 弘一